

# 2015 年度事業計画

2015 年 3 月 30 日

学校法人 金城学院

## 目 次

はじめに	1
《資料》金城学院中期計画（2015年度～2020年度）	
I 2015年度事業計画の策定にあたって	5
II 金城学院大学	6
1 使命・目的	
2 教育支援	
3 学生の受け入れ	
4 学生生活	
5 キャリア支援	
6 教育・研究環境	
7 国際交流	
8 社会貢献・地域奉仕	
9 管理運営	
10 施設・設備の充実・整備	
III 金城学院高等学校及び金城学院中学校	9
1 キリスト教主義による全人教育の強化	
2 教育・研究の推進と学習支援	
3 地域社会との共生	
4 KMP21（金城学院キャンパスマスタープラン）の推進	
IV 金城学院幼稚園	12
1 キリスト教保育の実践	
2 通常保育・預かり保育活動の充実	
3 保護者との連携	
4 新入園児の受け入れ	
5 2016年度入園希望2歳児のためのプレ幼稚園開催	
6 満3歳児保育の検討	
7 大学、関係団体及び地域との連携	
8 園庭整備と自然の有効利用	
V 法人部門	14
1 組織力の向上	
2 財務体質の強化	
3 広報の充実	
3 KMP21（金城学院キャンパスマスタープラン）の推進	
VI 予算概要	15
1 予算編成方針	
2 主な事業別予算	

## はじめに

---

金城学院は、1889年（明治22年）の創立以来、長きにわたってキリスト教主義に基づく女子教育に心血を注いできた。「主を畏れることは知恵の初め（箴言1：7）」を学院モットーに掲げ、現在は、建学の精神に基づく学院全体の教育の柱「福音主義キリスト教による女子教育」「全人的な一貫教育」「国際理解の教育」に従って、大学では「強く、優しく。」を、中学校・高等学校では「自立・自律・連帯」を、幼稚園では「愛され、育ち合う。」を、それぞれ教育スローガンとしている。

本学院は、前述のとおり創立から125年という長き伝統を有している。その伝統とは、本学院の発展を願い、戦前・戦中・戦後の苦難の時代を乗り越え、絶えず改革を進めてきた先人たちの労苦の上に築かれたものである。このことに鑑み、本学院は今後も、変革すべきは変革し、変えてはならないものは変えない姿勢で、今日の教育機関を取り巻く厳しい環境や激しい社会の変化に対応していく。

なお、本学院は創立120周年を機に、建学の精神の深化を基本方針とする「金城学院中期計画（2009年度～2014年度）」を策定して教育事業を進めてきた。そして昨年度11月に、次なる「金城学院中期計画（2015年度～2020年度）」（次頁参照）を新たに策定した。本学院はしたがって、この中期計画を基に、常に学院全体の組織・機構についての客観的な評価を実施し、法人運営を将来にわたって強固なものにするとともに、将来をしっかりと展望しつつ、教育・研究における質的向上の不断の努力を今後も続けていく。

2015年度は、その新たな中期計画の初年度である。ついては、今後6年間の中期計画課題を中心に、優先的かつ実行可能な事業から本年度の取り組みを進める。

《資料》金城学院中期計画（2015年度～2020年度）

テーマ／学校区分／中項目	施策	
ー キ リ ス ト 教 主 義 に よ る 全 人 教 育 の 強 化	大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生と教職員への建学の精神の徹底</li> <li>・キリスト教教育の再構築</li> <li>・学内礼拝の励行と教会出席の推奨</li> <li>・エラ・ヒューストン記念礼拝堂の活用</li> <li>・地域教会との連携強化</li> <li>・地域住民へのキリスト教講座の充実</li> </ul>
	中学校・高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の企画・参加型礼拝の実施</li> <li>・近隣教会への出席の奨励</li> <li>・キリスト教教育実施体制の再構築</li> <li>・教員のキリスト教学校教育同盟研修会への参加の奨励</li> <li>・宗教主事の果たすべき役割の見直し</li> <li>・キリスト教学校教育同盟との連携による「道徳の教科化」への対応</li> <li>・域を中心としたボランティア活動への参加の奨励</li> </ul>
	幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・建学の精神に基づくキリスト教教育の意識強化と教育スローガンの実践</li> <li>・礼拝と祈りと奉仕の実践</li> <li>・近隣教会への出席の推奨</li> <li>・礼拝を通し「主の祈り、聖句、聖話、讃美歌」を幼児の心に刻むこと</li> </ul>
	法人（学院全体）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キリスト教関係諸行事の充実と地域教会との関係強化（礼拝の魅力化と学生・生徒・園児に対する伝道の強化）</li> <li>・教会関係施設の地域への開放</li> <li>・歴史館の設置（金城学院アーカイブズの整理集約・保管・展示）</li> <li>・キリスト教音楽活動の活性化</li> </ul>

教育・研究の推進と学習支援	大学 教育・研究上の改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初年次教育の充実</li> <li>・社会から求められる教養教育の実現</li> <li>・国際理解教育の更なる推進</li> <li>・高度職業人の育成</li> <li>・教育課程の体系化</li> <li>・実質的な学修時間の確保</li> <li>・学生の主体的・能動的学びの実現</li> <li>・ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーに基づく教育の実現</li> <li>・国家試験合格率の向上</li> <li>・研究成果の可視化と教育への還元</li> <li>・科学研究費などの申請件数、採択件数の拡大</li> </ul>
	学生支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アドバイザー制の充実</li> <li>・キャリア開発・就職支援の推進</li> <li>・学生マナーの向上</li> <li>・クラブ・サークル活動の活性化</li> <li>・学生相談体制の充実</li> <li>・学生ボランティア活動の促進</li> <li>・「K-カルテ」「K-PORT」による学生支援の充実</li> <li>・防災体制の整備</li> <li>・共通教育運営体制の充実</li> </ul>
	教学マネジメント体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FD活動及びSD活動の推進</li> <li>・自己点検・自己評価制度の更なる拡充</li> </ul>
	中学校・高等学校 教育力の向上（探究力育成）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“Dignity”の充実</li> <li>・英語と社会の合科“World Studies”の充実</li> <li>・GDM（英語による英語教授法）を使った授業改善</li> <li>・ESD（持続可能な発展のための教育）導入の検討</li> <li>・多様な語学研修プログラムの推進</li> <li>・中高大教育連携の更なる推進</li> </ul>
生徒支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自立・自律・連帯」精神の育成と高揚</li> <li>・中高連携した進路指導体制の整備・充実</li> <li>・生徒相談に関するケースカンファレンスの定期的な実施</li> <li>・校舎建替え期間中の中高相互協力による良好な教育環境の確保</li> </ul>	
教学マネジメント体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入試研究部における入試改善の研究</li> <li>・カリキュラム研究部における探究力育成の研究</li> <li>・教師力向上のための研修会の実施</li> <li>・教育評価制度の導入と施行</li> </ul>	

Ⅱ 教育・研究の推進と学習支援	幼稚園 魅力ある教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由活動とリンクした学年別活動・クラス活動の充実</li> <li>縦割り（異年齢）保育の充実</li> <li>保護者と教員との連携強化</li> <li>保護者参加行事の見直し</li> </ul>
	環境の整備と子育て支援 中高大との交流と教員の連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>魅力ある園庭作りと、主体的な遊びを促す環境の整備</li> <li>幼稚園周辺の豊かな自然の有効利用、保全、美化</li> <li>預かり保育の拡充</li> <li>未就園児保育「プレ幼稚園」の拡充</li> <li>学生、生徒、園児の交流</li> <li>教員相互の交流・連携</li> </ul>
	法人（学院全体）	<ul style="list-style-type: none"> <li>修学及び成長意欲の喚起を促す奨学金制度の見直し</li> </ul>
Ⅲ 健全経営の維持	組織力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事評価制度の見直し</li> <li>管理職の育成</li> <li>内部統制が有効に機能したガバナンスの確立</li> <li>業務プロセスの見直しによる業務の効率化</li> <li>危機管理体制の強化</li> <li>教職員の意識向上によるリスクマネジメントの強化</li> <li>内部監査制度の定着</li> </ul>
	財務体質の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業の費用対効果の検証</li> <li>よりの確な意思決定ができる予算制度への改善</li> <li>財務指標に裏付けられた健全経営の維持</li> <li>財源多様化による収入基盤の強化</li> </ul>
	広報の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>戦略的広報活動の推進</li> <li>積極的な情報公開の推進</li> </ul>
Ⅳ 地域社会との共生	大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境共生モデル地区の維持と活用</li> <li>「大学コンソーシアムせと」への積極的参加</li> <li>KIDS（Kinjo Infant Development Support）センターの設置と運営</li> <li>企業との積極的な連携</li> <li>生涯教育、社会人教育、リカレント教育の充実</li> </ul>
	中学校・高等学校 キャンパスの地域への開放 地域奉仕活動への参画	<ul style="list-style-type: none"> <li>東区主催「文化のみち」などでの施設・設備の開放と活用機会の提供</li> <li>施設・設備の利用法の見直し</li> <li>東区主催「文化のみち」への積極的参画と奉仕活動</li> <li>社会福祉関係施設・保育関係施設での奉仕活動</li> <li>病院・刑務所・福祉施設等への慰問</li> <li>音楽系クラブによる演奏奉仕</li> </ul>
	幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学との連携による子育て支援プログラムの推進</li> <li>園児と地域の小学校・保育園との交流活動の実施</li> <li>園児と地域の高齢者との触れ合い交流活動の実施</li> </ul>
	法人（学院全体）	<ul style="list-style-type: none"> <li>歩道整備による地域住民及び学生の安全の確保</li> </ul>

< K M P 21 の 推 進	大学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学では、3期（1期…N1、N2棟及び礼拝堂の建築及び周辺整備、2期…W3棟建築及び周辺整備、3期…E1、E2棟建築及び周辺整備）に分けて整備計画を進めることにしている。</li> <li>・第1期は予定通り2014年度に終了した。</li> <li>・第2期(W3棟建築及び周辺整備)は、2014年度から実施しているが、これを計画通り2015年度中に完了させる。</li> <li>・第3期(E1、E2棟建築及び周辺整備)については、2020年度からの実施を計画しているが、それに向けた検討を行う。</li> </ul>
	高等学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高等学校では、2013年度に世光館を竣工した。</li> <li>・2014年度から地塩館の建て替えを実施しているが、これを計画通り2015年度中に竣工させる。</li> <li>・地塩館の竣工とともに栄光館を改修する。</li> </ul>
	中学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校では、高校の改築にともない設置した仮設校舎を引き続き利用し、2016年度から恵愛館、友愛館、信愛館の改築を実施し、2017年度中に竣工させる。</li> </ul>
VI 金城学院創立 130 周年・大学 設立 70 周年記念事業の立案 と実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・130周年記念事業についての立案と実行</li> <li>・130周年記念寄付金の募集</li> <li>・みどり野会（金城学院同窓会）との連携強化</li> <li>・金城学院資料室の整備</li> </ul>	

## I 2015 年度事業計画の策定にあたって

少子高齢化の進行、学校間競争の激化など、私学を取り巻く環境は大変厳しいものがあり、社会のニーズもますます多様化してきている。金城学院は、そうした様々な社会の変化とその要請に対して迅速かつ適切に対応できるよう、2015年度も大学から幼稚園に至る各学校において、様々な教育制度の改革や経営の改革を推し進める。

大学では、社会の多様なニーズに迅速に対応すべく、2012年度に現代文化学部国際社会学科及び情報文化学科の学生募集を停止し国際情報学部国際情報学科を設置するとともに、現代文化学部コミュニティ福祉学科の学生募集を停止し人間科学部コミュニティ福祉学科を設置した。さらに、人間科学部芸術・芸術療法学科の学生募集を停止し2013年度に文学部音楽芸術学科を新たに設置した。2015年度は、この新たな学部学科構成に基づく4年目であり、引き続き教育研究の質をさらに高めるよう教育研究の改善努力をするとともに、質の確保のための学内システムを構築する。

高等学校及び中学校では、これまでに数学、理科、外国語及び情報の授業時間数の増加など新学習指導要領に対応した教育課程を整備した。2015年度は、「何を教えるか」ではなく「どのような力を身に付けさせるか」の観点に立って、「自立・自律・連帯」できる女性の育成を目指した教育をさらに推し進める。

幼稚園では、子育て支援ならびに入園希望者拡大策として2013年度から「預かり保育」事業を開始した。2015年度は、入園希望者にとって入園しやすい環境の整備と制度の充実にさらに努める。

法人部門では、2012年度から開始したKMP21（金城学院キャンパスマスタープラン）に基づく設置各学校の教育環境リニューアル計画を推し進めるとともに、2013年度から始めた内部監査制度を定着させる。また、財務基盤の強化と人材の育成をさらに進める。

なお、KMP21においては、2013年度は大学ではN2棟と新礼拝堂を、高等学校では新世光館を竣工させた。2014年度は大学ではN1棟を竣工させるとともに、新W3棟の建築工事を開始した。高等学校では希望館の改修を行うとともに地塩館の建替え工事を開始した。2015年度はこれに続き、大学では新W3棟を竣工させ、高等学校では栄光館の改修を行うとともに新地塩館を竣工させる予定である。

## II 金城学院大学

大学を取り巻く状況は厳しさを増しつつあるが、大学においては、「強く、優しく。」を教育スローガンに掲げ、知的に鍛えた強さと優しさを兼ね備えた品格ある女性の育成を目指す。

具体的には、新たな学院中期計画（2015年度～2020年度）に基づき、2015年度は以下の事業を計画し、遂行する。

### 1 使命・目的

#### (1) キリスト教主義教育とキリスト教活動の魅力化

建学の精神を学び、理解するために、キリスト教教育の充実を図り、学生達には自主的に礼拝に参加するよう指導に努める。

#### (2) 教職員に対する建学の精神の理解促進

教職員に対して建学の精神の理解を一層深めるために、キリスト教セミナーや職員修養会の充実を図る。

### 2 教育支援

#### (1) 履修登録単位数上限（CAP制）の見直し

2016年度からの運用を目指して、現行の履修登録単位数上限（CAP制）の見直しを検討する。

#### (2) 授業外学習時間の確保に向けた方策の検討

単位の実質化に向けて、これまで以上に授業外学習時間の確保に向けた方策を検討し、実施可能な行動案を策定する。

#### (3) 学修支援策の検討



学生の学びを支援するため、「学修支援授業計画書（仮称）」並びに「身につくちから」の専門教育科目への導入可否の検討を開始する。

#### (4) 教育課程の体系化

2015年度から実施のナンバーリング（科目番号制）やカリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーの有効性を検証し、必要な改善を行う。

### 3 学生の受け入れ

#### (1) 「入試5か年計画」終了後の中期計画を策定する。

「入試5か年計画（2012年度入試～2016年度入試）」に示された入試制度改革の実施を受け、より幅広い改革の方針と連動した入試に関する中期計画を策定する。

#### (2) 入試制度改革による志願者増

本学のセンター試験利用入試及びセンタープラス方式入試の利用科目数を変更することにより、志願者を増加させる。

### 4 学生生活

#### (1) 学生相談室体制の再構築

相談学生への組織的サポート体制を充実させるため学生相談室運営委員会を活性化させる。

#### (2) 「K-カルテ」システムの再構築

K-カルテを含む各種ネットワークとの棲み分けや相互リンクなど、学生生活指導に関わる各種ネットワークのより有効な構成と利用法について検討し、K-カルテの仕様について見直す。

#### (3) 学生組織と協働した学生生活の向上

学生会、サークル協議会と協働し、学生生活の向上と地域貢献等を目的にイベントや体験型プログラムを計画・実施する。

### 5 キャリア支援

#### (1) 就職活動の不安軽減支援

就職活動の本格化を前に、就職活動全体のイメージを学生が掴み、不安を払拭し一歩前へ踏み出す動機づけとする取り組みを実施する。

#### (2) 上級生・卒業生による就職活動支援

内定を受けた4年生が、下級生をアドバイスする取り組み、また卒業した就活サポーターによるOG懇談会の実施を拡大する。

### 6 教育・研究環境

#### (1) 本学における教員像の位置づけの検討

これまでの教員像の策定過程を検証した上で、本学における教員像の位置づけについて検討する。あわせて、今後の教員像の策定計画をまとめ教員像をどう活用していくかについても考えていく。

(2) 研究倫理教育実施に向けた教員への啓発

文部科学省の「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」では、学生に対する研究倫理教育についても触れられている。すべての教員が研究倫理を熟知し、効果的な研究倫理教育を実施できるよう、研究倫理をテーマとしたFD交流集会を開始する。

## 7 国際交流

(1) 留学プログラムの見直し

ファウンデーションプログラム（イギリスやオーストラリアで実施されている基礎教育コース）を活用している大学に対して、単位認定やプログラムの運用実態について必要な情報を得る機会を設け、本学への導入について検討する。

(2) 協定校との連携強化と情報発信

本学の協定校に対して、協定上の語学水準や学内選抜時期、奨学金や留学生会館の情報などを明記した「Fact Sheet」を協定校に毎年送ることとし相互確認を通じて連携強化を行う。また、本学における留学生の生活や活動を英語と日本語で紹介する「Facebook」ページを開設し、留学を希望する学生に情報発信を行う。

## 8 社会貢献・地域奉仕

(1) KIDSセンター設置

KIDSセンターが地域の有用な施設として利用されるよう周知を行うとともに学内諸規程の整備を行う。

(2) 地域との交流

守山区との連携を推進するとともに名古屋市との連携を模索する。また、継続して地域の自治会等と話し合いを進める。

(3) 大学コンソーシアムを通じた地域社会貢献

本学加盟の「大学コンソーシアムせと」が実施している教育事業や地域交流事業を通じて、本学の知財、人財を活用し、地域社会貢献の活動をさらに積極的に進める。

(4) ファッション工房の運営

これまで取り組んできた社会貢献事業を検証し、今後の運営のあり方を検討する。あわせて活動を広く広報する。

(5) 八竜地区の活用

八竜地区が本学院のみならず地域にとっても貴重な財産であることを、学内外に広く周知し、環境教育に資するための活用を促す。

## 9 管理運営

### (1) 危機管理体制の整備

KMP21の進行にともなう安全対策と避難体制を検討するとともに防災管理委員会を中心に「災害対策マニュアル」の見直しを進める。

また、受入れ留学生の危機管理について、迅速で的確に対応できる体制を整え、「災害対策マニュアル」に反映させる。

### (2) 実務助手との協働

KMP21にともない事務室の移動等があるが、業務がスムーズに行えるよう実務助手と事務職員が連携して対応する。

## 10 施設・設備の充実・整備

新W3棟の竣工及びセンターコート全体の整備によってキャンパスアメニティーを充実させるとともに、施設・設備の整備を図る。

## Ⅲ 金城学院高等学校及び金城学院中学校の事業計画

初等教育においては、「豊かな人間性」「健康・体力」「確かな学力」を総合した力、とりわけ「確かな学力」に力点を置いて教育が進められている。また、2015年度の中学校入学者は、大学進学時に大学入試センター試験が廃止され、「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」を受験する最初の生徒である。

したがって2015年度は、初等教育で培われた「確かな学力」を育みつつ、神を畏れ、キリストにあるDignityを持って「自立・自律・連帯」できる女性の育成を目指し、次のように事業を進める。

### 1 キリスト教主義による全人教育の強化

以下の施策を中心に、キリスト教主義による全人教育の取り組みを推し進める。

#### ① 生徒の企画・参加型礼拝の実施

伝道週間などを、宗教常任委員会、宗教委員会を中心に、生徒の企画を立てていく。オルガン奉仕部による積極的な礼拝奉仕も行っていく。

#### ② 近隣教会への出席の奨励

教会出席奨励日があるが、1年を通して、担任や授業担当者（聖書科を中心に）の協力を得て、教会への出席を促す。

#### ③ キリスト教教育実施体制の再構築

これまでの中高の一貫教育としてのキリスト教教育を見直し、「礼拝、行事、聖書科授業」のさらなる連続性を構築していく。

- ④ 教員のキリスト教学校教育同盟研修会への参加の奨励  
宗教課の教員を中心に、キリスト教学校教育同盟の研修会への参加を促す。さらに、それぞれの年代からの代表が参加していけるようにする。
- ⑤ 宗教主事の果たすべき役割の見直し  
キリスト教教育全般をつかさどる各校の宗教主事が、学院主事会の責任のもとでそれぞれの役割を担い、ますます中高大と連携していく。
- ⑥ キリスト教学校教育同盟との連携による「道徳の教科化」への対応  
金城における道徳という教科の位置付けを学院主事会で話し、これから学内で行わなければならないことを決定していく。
- ⑦ 地域を中心としたボランティア活動への参加の奨励  
課外活動としてのボランティアの形を整え、さらにボランティアを通して、生徒に学んでほしいことを明確にしていく。

## 2 教育・研究の推進と学習支援

### (1) 教育力の向上

中学と高校の接続のところで指導のギャップをなくすためにも生徒の情報を中高一貫で共有し、学習指導の連携をより一層滑らかにすることで学習効果をより一層引き出す。また、高校にとっては新教育課程の完成年度であり、特に今年度より実施に移される3年生の新カリキュラムでの授業を円滑に実施する。

- ① ”Dignity”の充実
- ② 英語と社会の合科”World Studies”の充実
- ③ GDM（英語による英語教授法）を使った授業改善
- ④ ESD（持続可能な発展のための教育）の推進
- ⑤ 多様な語学研修プログラムの推進

2014年12月の中教審答申及び我が校の“めざす人間像”を考慮した中高の語学研修を組み立て直す。

- ⑥ 高大教育連携の更なる推進

### (2) 生徒支援の充実

生徒一人一人がより充実した学生生活を送ることができるよう、次の施策を中心に生徒支援の充実を図っていく。

- ① 「自立・自律・連帯」精神の育成と高揚
- ② 中高連携した進路指導体制の整備・充実
  - ・進路指導についても、単なる知識・技能の習得度に基づく指導を行うのではなく、多面的・総合的な評価に基づき、生徒一人一人の将来目標の実現を支援する観点に転換する。
  - ・大学入試制度の変更について、進路指導課として情報収集し早目の準備やその対応方法などを提案していく。

- ③ 生徒相談に関するケースカンファレンスの定期的な実施
  - ④ 校舎建て替え期間中の中高相互協力による良好な教育環境の確保
- (3) 教学マネジメント体制の強化
- 入試の改善や授業内容の改善に向け、教学マネジメントの強化を以下の施策により進める。
- ① カリキュラム研究部における探究力育成の研究
    - ・教育のグランドデザインの設計支援
    - ・思考力・判断力・表現力を育成する授業の開発、及びアクティブラーニングの普及
    - ・教育課程表の形式の改善
    - ・21世紀型学力の研究開発
    - ・政府が推進する高等学校教育・大学教育・高大接続の一体改革の動向の掌握
  - ② 入試研究部における入試改善の研究
    - ・入試研究部を中心として、思考力を測定するような記述式試験、および英語試験の中学入試への導入
    - ・塾などの主催する入試研究会への参加、入試情報誌の閲覧、研究部内での勉強会の実施など
  - ③ 教師力向上のための研修会の実施
    - ・役職者・中堅・若手それぞれにふさわしい修養会、研修会等に派遣あるいは企画し、現状の問題点を共有し改善する意欲を持った人材を育成する。
  - ④ 教育評価制度導入と施行
    - ・カリキュラム研究部を中心に新たな評価方法の研究・開発を行い、生徒の多様な学習成果や活動を評価する方法に転換する。
    - ・調査書及び指導要録の様式等についても新たな中学校・高等学校の在り方を踏まえ、生徒の多様な学習成果や活動が反映されたものになるように改定する。

### 3 地域社会との共生

#### (1) キャンパスの地域への開放

次の施策を中心に、キャンパスの地域への開放を一層拡大する。

- ① 東区主催「文化のみち」などでの施設・設備の開放と活用機会の提供
- ② 施設・設備の利用法の見直し

#### (2) 地域奉仕活動への参画

以下の施策を中心に、地域奉仕活動への積極的な参画を推奨し拡大させる。

- ① 東区主催「文化のみち」への積極的参画と奉仕活動
- ② 社会福祉関係施設・保育関係施設での奉仕活動
- ③ 病院・刑務所・福祉施設などへの慰問
- ④ 音楽系クラブによる演奏奉仕

#### 4 KMP21（金城学院キャンパスマスタープラン）の推進

KMP21に基づき、高等学校では地塩館の新築及び栄光館の改修工事を生徒の安全を第一に2015年度中に完了させる。また、中学校では2016年度以降に予定されている恵愛館、友愛館及び信愛館の改築工事に向けての準備を進める。

### IV 金城学院幼稚園

2015年度から「子ども・子育て支援新制度」が施行されるが、本園は創設の理念を大切にされた教育方針に基づく教育を推進するため、当面は現行の幼稚園として歩む選択をした。しかし、今後も政府の政策についての情報収集に努め、幼児教育において本園が最もふさわしい選択が出来るよう注視していく。そして、引き続き子育て世代のニーズに即した取り組みを柔軟に取り入れ、恵まれた環境のもとでの魅力ある幼稚園を目指して2015年度の教育事業を以下のように進める。

#### 1 キリスト教保育の実践

キリスト教保育連盟の2015年度主題聖句「平和を実現する人々は、幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる。」（マタイによる福音書5章9節）と年度主題「『平和』をつくる」に基づき、教育スローガン「愛され、育ち合う。」を実践する。そのために以下の4点を遂行する。

- ① 保護者、保育者、友だちの愛情を受け神と人とを愛し尊ぶ心を養う。
- ② 「主の祈り、暗唱聖句、聖話、讃美歌」に親しむことが出来る様に導く。
- ③ 神から頂いている力を活かし、発達段階に即した経験が出来るように援助する。
- ④ 縦割り保育を通し、年下の子と年上の子が互いに認め合い育ち合うように導く。

#### 2 通常保育・預かり保育活動の充実

教育カリキュラムを教諭間で十分検討し、自由活動、クラス活動、各年齢別活動をリンクさせながら一貫性を持たせ、保育を充実させていく。

また、3年目を迎える通常保育後の教育活動としての預かり保育内容を更に充実させるとともに、保護者のニーズに即して提供できるよう取り組みを進める。

#### 3 保護者との連携

##### (1) 保護者の保育参加

保育参観ではなく保護者が保育に参加する機会を選択できる形で設定し、子どもの目線で子どもの生活を体験できるようにする。そうすることにより、子どもや教育方針への理解を深める機会とする。

## (2) 園長及び教諭との懇談と子育て支援

保護者による送迎の利点を活かし、毎日降園時の担任との懇談、定期的な個人懇談、必要に応じては園長との個別懇談の機会を随時設けるなど、子育て支援体制を整える。

## 4 新入園児の受け入れ

### (1) 入園願書配布のための取り組み強化

幼稚園体験と説明会の内容をより魅力的なものとし、親しみやすく、質問しやすいなど少人数で回数を増やして行う。親子で幼稚園理解を深める機会とすることで募集力を強化し入園願書配布に繋げる。

### (2) 幼稚園広報の充実

ここ数年の幼稚園体験と説明会参加者アンケートから、幼稚園探しに最も有効な手段がホームページであるという結果を受け、幼稚園ホームページを更に分かりやすく魅力あるものにするよう努める。また在園児保護者から知り合いや近所の入園対象年齢児に直接幼稚園案内パンフレットを手渡してもらうなど、説得力のある広報の在り方を考えていく。

## 5 2016年度入園希望2歳児のためのプレ幼稚園開催

3年目を迎える「プレ幼稚園」を更に充実したものにしていく。これまでは、前期に4～5回のプログラムを実施してきたが、通常保育に差し支えない範囲で、人数や日程を増やす。そうすることにより、幼稚園体験と子育て中の母親の相談や交流の機会が増え、幼稚園理解や入園に繋がるものにする。

## 6 満3歳児保育の検討

近年、未就園児保育に対するニーズがますます高まってきている。ついては、満3歳児保育についてもその可能性を検討し前向きに取り組んでいく。

## 7 大学、関係団体及び地域との連携

引き続き、大学や幼稚園連盟及び協会、キリスト教保育連盟などの関係団体との連携を強化し、地域社会のニーズに沿って次の3点の活動を推進することで、更に地域との交流を促進する。

- ① 大学との連携による子育て支援活動の拡充(2015年9月オープン予定のKIDSセンターでの支援活動を含む)
- ② 地域の中中学生及び高校生の職場体験学習の受け入れ
- ③ プレ幼稚園及び未就園児保育の拡充

## 8 園庭整備と自然の有効利用

自然の中にある恵まれた教育環境と、幼児の心身の発達に即した活動がのびやかに行える魅力のある園庭作りを続け、それを十分に活かすことが出来るように今後も整備、修繕を行っていく。また同時に、遊具や設備の安全点検を定期的に行う。

## V 法人部門

金城学院大学、金城学院高等学校、金城学院中学校及び金城学院幼稚園が行う様々な事業を、円滑かつ健全に運営するために法人部門が担う役割は極めて重要である。変化が激しい社会環境や多様化するニーズに応えることができる学校法人であるために、絶え間ない組織・経営改革を推進することを、法人部門は求められているからである。

このような認識と使命の下、学校法人金城学院の中期計画に基づく法人部門の2015年度事業計画としては、次の4点を掲げてその取り組みを進める。

### 1 組織力の向上

18歳人口が踊り場にある今、学院を取り巻く経営環境は、依然として生き残りを賭けた激しい競争が続くと予測される。この難局を乗り越え、更には2018年度以降の減少期に備える健全経営体制を確立するためには、組織力の向上が重要な課題である。その具体的な施策として以下を推し進める。

#### ① 管理職の育成

SD研修を積極的に取り入れ、管理職一人ひとりの能力を高めていく。

#### ② 内部監査制度の定着

3年目を迎える内部監査制度の学内周知を図り、安定的に運用する

### 2 財務体質の強化

健全経営の基盤となる強固な財務体質を確立するためには、現在取り組んでいるすべての事業について、内部環境及び外部環境の分析により、再評価を行いその結果に基づき選択と集中を推進し、資産の有効活用を図る必要がある。その具体的な施策として以下を推し進める。

#### ① 各事業の費用対効果の検証

各事業の過去の収支状況を検証した上で、今後の環境分析を踏まえ、事業を継続する場合の費用対効果を検証する。

#### ② よりの確な意思決定ができる予算制度への改善

事業再評価後の選択と集中を適正に推進するために、適正なガバナンスのもと適宜迅速に意思決定できる予算制度へ改善する。



### 3 広報の充実

健全経営を維持するためには、教育・研究活動を通じて構築されたブランド力を、タイムリーな広報活動によりアピールし、競争力をより向上させる必要がある。また、情報公開をさらに積極的に行い、公正・透明な経営を維持する必要がある。その具体的な施策として以下を推し進める。

#### ① 戦略的広報活動の推進

更なるブランド構築のため、交通広告を継続するとともに、新たに動画サイトの運用を開始する。

### 4 KMP21（金城学院キャンパスマスタープラン）の推進

より良い教育を推進するためには、教育環境が重要な役割を果たす。そこで、施設の整備は勿論のこと、キャンパス全体の見直しを行い、安全で使い易く、自然等に配慮した環境を整備する。本学院では、金城学院キャンパスマスタープラン（KMP21）を作成し、2012年度から整備を開始しているが、この計画に基づき継続して整備を推進する。その具体的な施策として以下を推し進める。

- ① 大学は、第2フェーズ（W3棟建築及び周辺整備）を2014年度から実施しているが、これを計画通り2015年度中に完了させる。
- ② 高等学校は、2014年度から地塩館の建て替えを実施しているが、これを計画通り2015年度中に竣工させる。また、地塩館の竣工とともに栄光館を改修する。

## VI 予算概要

### 1 予算編成方針

2015年度予算編成は、新たに策定した6ヵ年にわたる中期計画（2015年～2020年）の初年度であることを踏まえ、政策全体を見渡し、計画の実現の礎を築くものとする。

具体的には、以下の編成方針に基づき、必要かつ妥当と判断された計画の採択を原則とする。

#### (1) 収入関連

学生生徒納付金収入は、各校とも対入学者定員100%、退学・休学想定率2%とする。補助金収入は、前年度実績の90%もしくは最低補償額を見込む。その他の収入等は、不確定な要素があるので、例年通り織り込まない。

#### (2) 支出関連

健全財政の確保を目的として、2015年度の継続経費は、「2013年度規模に対するゼロシーリング」を目指す。また、2014年度に引き続き、防災対策強化、環境配

慮などの政策的予算への積極的な再配分を目指す。設備更新関連は、緊急性、有効性などを十分検討し予算化した。

(3) 事業活動収支及び繰越支払資金

KMP21（金城学院キャンパスマスタープラン）に関連する収支を除いた予算で、2015年度において事業活動収支差額比率10%の確保を目指す。2015年度繰越支払資金10億円以上を目指す。

2 主な事業別予算

予算編成方針に基づき、2015年度の主な事業に対する予算を次のとおり計画した。

(単位：千円)

分類	事業内容	予算額
KMP21 関連事業	(大学) ・ 新W3棟建設（第2フェーズ） ・ 新W3棟備品購入	4,841,000
	(高等学校) ・ 新地塩館建設 ・ 新地塩館備品購入 など	
地域子育て支援 事業	・ KIDSセンター建築	195,000
防災対策 強化事業	(大学) ・ 既存校舎緊急電話設置工事 ・ 防犯用監視カメラ設備工事	70,000
	(高等学校) ・ 栄光館講堂天井耐震補強工事 など	
教育設備 充実事業	(大学) ・ W2棟（旧W10号館）プロジェクター更新 ・ 調剤用コンピュータシステム更新 ・ 授業用ソフトウェア購入	37,000
	(幼稚園) ・ 保育室レースカーテン更新 など	
修繕事業	(大学) ・ 図書館内外改修	281,000
	(高等学校) ・ 栄光館2階改修 など	
広報事業	・ 新聞広告掲載 ・ 鉄道額面ポスター掲出 など	73,000
その他	・ 緊急特別就職支援策 など	76,000
合計		5,573,000